

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00410）

事務事業名称 水辺環境の整備			款 05	項 03	目 03	事業 002	整理番号 438		
現担当課名 土木計画課		係名 河川橋梁係	連絡先電話番号 3428			昨年度整理番号 430			
上位施策No・施策名 08 水とみどりのネットワークの形成						予算事業区分 投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成13年度	実行計画事業 目標 03 施策 08 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成29年度担当課名	土木計画課				事業評価区分 一般			
	対象	区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)沿川の居住者及び利用者等		根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第281条の2 河川法第15条の2				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	老朽化した区内3河川の適正な管理により、区民が安心して暮らせる河川環境を確保する。 多様な動植物が生息・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	水鳥一斉調査(20年度からの累計)  善福寺川に関する普及啓発活動(20年度からの累計)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	老朽化した区内3河川の護岸補修・河床保護等の整備を進める。 潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図るため、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針に基づき事業を進める。 東京都が実施している河川整備において、協議や調整等を図りながら自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合 区民意向調査による				
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画 (目標値) 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 回	8	9	9	10 10	11	100.0	
	活動指標(2)	2 回	8	9	9	10 10	11	100.0	
	成果指標(1)	3 %	72.9	75	75.5	80 74.6	80	93.3	
	成果指標(2)	4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	19,556	15,539	13,040	91,225 86,557	39,957	平成29年度 予算執行率(%) 94.9	
	(内)投資的経費等	6 千円	19,556	15,539	13,040	91,225 86,557	39,957	特記事項 平成29年度は「みんなの夢水路整備工事」の整備費用により、事業費が大幅に増加しました。 活動指標(2)については、平成29年度でシンポジウムの開催が10年の節目を迎えたことから、子どもから大人まで幅広く参加できる普及啓発活動を行うこととし、指標を変更しました。	
	(内)委託費	7 千円	18,840	14,800	12,516	90,355 85,903	39,092		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.88	1.90	1.88	2.07 1.70		1.77
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	16,444	16,619	16,097	17,723 14,605		15,206
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0 0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0 0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	36,000	32,158	29,137	108,948 101,162	55,163		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	2,055,500	1,846,556	1,788,556	1,772,300 1,460,500	1,382,364		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0 0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0 0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	4,950	3,888	2,895 2,592		37,420
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0 0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	4,950	3,888	2,895 2,592	37,420		
差引：一般財源(14-20)		21 千円	36,000	27,208	25,249	106,053 98,570	17,743		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0 0.0	0.0			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	438
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		妙正寺川護岸空洞調査委託	1	件	2,592
		水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	810
		みんなの夢水路水質調査委託	2	件	729
		みんなの夢水路整備工事	1	件	79,412
		その他（水鳥一斉調査謝礼金の支出ほか）			3,014
(2) 事業実績	<p>妙正寺川左岸河川管理通路において、空洞調査を実施しました。 また、善福寺公園内水路の再整備及び善福寺川で見られる鳥の生息状況を把握するため区民参加による水鳥一斉調査を実施しました。さらに、川に対する区民の関心を高めるためのシンポジウムを開催し、水辺環境の再生・創出についての普及啓発を図りました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>東京都は神田川流域河川整備計画に基づき河川整備を進めており、都施行による善福寺川整備事業と連携して整備を進めてきた親水護岸（区立済美公園の一部を利用）の整備が完了し、安全に配慮した管理を行っています。 地元小学生からの提案を受けて、地域住民と協働により事業を進めてきた善福寺公園内の水路について、親水施設としての再整備が平成29年度に完了しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>河川の水害対策に関する意見が多く寄せられる一方、河川は治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されてきています。 豊かな自然資源である水とみどりを大切に、積極的に区の事業にもかかわって行きたいとする区民意識の高揚を考慮しつつ、水辺を取り巻く良好な環境づくりを積極的に推進することが期待されています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>水辺は貴重な水と緑の空間として区民に潤いや安らぎを与えると共に、まちの景観形成や余暇の有効活用等において、重要な役割を果たしています。特に近年では、まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ、一体的な水辺環境整備が社会的な要請となりつつあります。また、水辺に対する区民の関心は高く、今後も引き続き、東京都の河川整備事業との連携も図りながら、区民との協働により水辺環境の整備を進める必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>区内の3河川において東京都と連携した河川整備を進めるとともに、善福寺川の水鳥一斉調査やシンポジウムの開催により、区民意向調査の「みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合」は70%を超えるなど、水辺環境についての区民の関心は高い傾向が続いています。 また、平成29年度に完成した善福寺公園内水路の親水施設については、完成後の維持管理が課題となっていますが、区民団体との協働により適正に管理していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>水辺環境の整備については、水鳥一斉調査などにより、環境への関心を高め意識啓発を図るとともに、東京都をはじめとした関係機関との連携により、自然に配慮した護岸の整備に引き続き取り組みます。また、護岸や親水施設等の安全確保のため、必要な現状調査や補修を行うなど、適切な維持管理に取り組んでいきます。これらを踏まえ、翌年度は水鳥一斉調査や護岸等の河川施設の適切な維持管理を行うための調査・検討を行います。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00423)

事務事業名称		公園の維持管理			款	05	項	04	目	01	事業	001	整理番号	451	
現担当課名		みどり公園課		係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	443			
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始														
	平成29年度担当課名	みどり公園課										事業評価区分	施設維持管理		
	対象	区立公園324園 公園利用者			根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民が安全で快適に利用できる公園にする。			活動指標	指標名(1) 区立公園管理面積 指標名(2) 区民要望件数									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理を行う。			成果指標	指標名(1) 指標名(2)									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	m <sup>2</sup>	614,462	652,312	649,821	651,260	650,162	653,494	99.8					
	活動指標(2)	2	件	957	0	868	0	894	0	0.0					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	709,418	909,490	873,515	960,665	934,938	1,071,853	平成29年度 予算執行率(%)	97.3				
	(内)投資的経費等	6	千円	33,587	38,236	37,623	41,815	41,809	39,127	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	614,063	799,621	778,562	854,056	842,563	967,063						
	職員数	常勤職員数	8	人	14.39	13.40	13.19	12.70	13.34	11.15					
		再任用職員数	9	人	31.76	29.27	29.53	21.70	21.73	20.80					
		非常勤職員数	10	人	17.60	15.73	15.02	18.27	18.48	17.40					
	人件費	常勤職員分	11	千円	125,869	117,210	112,933	108,737	114,604	95,790					
		再任用職員分	12	千円	131,455	121,149	129,637	95,263	96,220	92,102					
		非常勤職員分	13	千円	51,656	46,168	44,624	54,280	54,405	51,226					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	1,018,398	1,194,017	1,160,709	1,218,945	1,200,167	1,310,971						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,603	1,772	1,728	1,807	1,782	1,946						
	財源	受益者負担分	16	千円	17,039	19,600	18,411	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	5,107	2,593					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	17,039	19,600	18,411	0	5,107	2,593						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	1,001,359	1,174,417	1,142,298	1,218,945	1,195,060	1,308,378						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.7	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0							

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	451
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		園地清掃業務委託	309	所	214,629
		樹木、花壇、除草等管理委託	322	所	199,231
		大規模公園等の管理運営委託	15	所	179,904
		柏の宮公園井戸設置工事	1	所	6,179
		その他（その他の園地維持管理費ほか）			334,995
	(2) 事業実績	平成29年度は園灯や遊具など公園施設の補修を行い公園利用者の安全性と利便性の向上に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	老朽化が進む公園施設の安全性を確保するため、公園の遊具については健全度調査を基に、更新の優先度を検討し、今後、公園施設の適正な管理と安全性の確保を行っていきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00424)

事務事業名称		公園事業				款	05	項	04	目	01	事業	002	整理番号	452	
現担当課名		みどり公園課				係名			管理係、みどりの協働係			連絡先電話番号	3572	昨年度整理番号	444	
上位施策No・施策名											08	水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成12年度	実行計画事業			目標	03	施策	08	計画事業		05				
	平成29年度担当課名	みどり公園課										事業評価区分	一般			
	対象	公園利用者 公園ボランティア団体				根拠法令等	(1)		都市公園法							
						(2)		杉並区立公園条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	安全安心に利用できる公園が増え、苦情要望が減少する。 地域住民ボランティアによる公園管理が増加する。				活動指標	指標名(1)		公園ボランティア団体数							
					指標名(2)		夜間警備車両台数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	公園利用調整：公園占用許可の調整や受付を行う。 また、占有者と一般利用者や近隣への安全対策などの調整打合せを行う。 公園利用指導：不適切な公園利用に対し、職員や夜間安全パトロールによる適正利用指導を行う。 公園ボランティア活動支援：公園内の管理活動に携わる団体に対して必要な資材などを提供し活動の支援を行う。				成果指標	指標名(1)		占用申請利用件数								
					指標名(2)		要望件数÷公園数									
					指標説明		児童遊園、遊び場含む									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	団体	177	190	176	197	181	204	91.9						
	活動指標(2)	2	台	1,226	1,226	1,226	1,226	1,226	1,226	100.0						
	成果指標(1)	3	件	948	1,200	1,134	1,200	1,172	1,200	97.7						
	成果指標(2)	4	件	3	3	3	3	3	3	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	59,205	65,793	63,064	64,548	63,503	0	平成29年度 予算執行率(%)	98.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	47,460	53,229	51,724	52,445	52,346	0							
	職員数	常勤職員数	8	人	3.42	3.30	3.30	3.30	3.30	4.50						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	29,915	28,865	28,255	28,255	28,350	38,660						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	89,120	94,658	91,319	92,803	91,853	38,660							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	503,503	498,200	518,858	471,081	507,475	189,510							
	財源	受益者負担分	16	千円	1,981	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,981	0	0	0	0	0							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	87,139	94,658	91,319	92,803	91,853	38,660							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	452
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		安全パトロール業務委託	1,226	台	51,082
		花咲かせ隊支援	133	団体	9,532
		すぎなみ公園育て組支援	48	団体	1,418
		犬のしつけ方教室開催	4	回	484
		その他（柏の宮公園学習室運営ほか）			987
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成29年度中には「すぎなみ公園育て組」が4団体増で48団体、「花咲かせ隊」は5増4減で133団体となりました。これらの団体にはボランティア保険への加入や資器材の支援とともに、区民と協働してより良い公園の維持管理を推進しました。夜間の公園安全パトロールは年間を通じて実施し、夜間利用の要望、苦情について迅速に対応しました。また、不正利用の早期発見や適切な利用の指導などを行い、公園利用に関する様々な情報を収集を行うことによりトラブルの事前予防を図りました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度から始まった「花咲かせ隊」、16年度から始まった「すぎなみ公園育て組」ともに知名度が上がり、参加団体数は着実に増えています。しかし、人手が集まらないことや会員の高齢化のため活動が維持できないとの理由で脱退する団体もあり、平成29年度にも脱退する団体がありました。公園の夜間安全パトロールについて指導の依頼は多く、平成22年度から夏場は3台から1台増やし4台体制でパトロールを行っています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>公園の夜間安全パトロールの実施により、夜間の迷惑行為に対し、迅速に具体的な対応がとれるようになりました。このため夜間の苦情要望について、区民から一定の評価をいただいています。花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組の活動についても、公園の手入れや、美しい花壇に感謝の言葉をいただいています。一方で支援の内容に関する要望も増えています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>「すぎなみ公園育て組」、「花咲かせ隊」のいずれも当初登録時から15年以上活動しているボランティア団体もあり、構成員の高齢化が進み継続的な活動が難しくなっている団体も増えてくるとみられます。一方で、知名度が向上したことから活動参加を希望する団体も増加し、活動場所の確保などの課題も発生します。都市における生活スタイルがますます多様化し、公園利用に関してもこれまでにない新たな問題が発生する可能性があります。近年では Dengue 熱や ジカ 熱を媒介する蚊の発生や飼育できなくなったペットの放置、ドローンなど多様な玩具の使用など公園利用に支障をきたす事例もあります。</p>			
	評価と課題	<p>「すぎなみ公園育て組」「花咲かせ隊」ともに活動の場も広がり、公園維持管理における区民との協働の取り組みとして地域コミュニティの情勢にも大きな成果をあげています。公園への関心も高まり多くの人の目が公園に向けられる一方で、早朝夜間の公園利用や、犬の放し飼い、騒音などの迷惑利用も増加しており、安全安心なまちを支えていく上で欠くことのできない事業となっています。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>安全パトロールは、365日終日区内を巡回し地域の安全を見守っています。特にみどり公園課では、深夜・早朝の区立公園や公共施設などにおける不法行為や不適正利用への指導啓発を行っています。また公園内の球戯場門扉の朝夕鍵の開閉業務も行っており、今後も区民の様々な意見要望に対応し、公園と地域の安全安心を確保していくため必要な事業です。これからも、公園の迷惑利用に速やかに対応する効率的な巡回に取り組んでいきますが、生活様式の多様化により深夜、早朝の迷惑利用に対する指導や防犯に対する要望が増加していくと考えられます。活動中のボランティア団体については、高齢化が進み活動が継続できなくなり、脱退する団体も見られます。今後は、各ボランティアの活動状況をきめ細かく把握し、区との役割分担を明確にし、活動が楽しく継続的に続けられよう適切な支援を行います。ボランティア団体と良質な協力関係を保ち、美しい公園の維持に努めます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00425)

事務事業名称		遊び場の維持管理			款	05	項	04	目	01	事業	003	整理番号	453		
現担当課名		みどり公園課		係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	445				
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和46年度														
	平成29年度担当課名	みどり公園課											事業評価区分	施設維持管理		
	対象	区立遊び場(20箇所) 遊び場利用者			根拠法令等	(1)		杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱								
						(2)		先行取得用地の活用と管理について								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民が安全で快適に利用できる遊び場にする。			活動指標			遊び場管理面積								
				指標名(1)			区民要望件数									
				指標説明												
				指標名(2)												
				指標説明												
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			成果指標			遊び場管理面積									
	公園の先行取得用地や他の公共団体、地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備を行う。施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理を行う。			指標名(1)			区民要望件数									
				指標説明												
				指標名(2)												
				指標説明												
区分	単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
		実績	計画	実績	計画	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m <sup>2</sup>	77,314	72,809	45,413	45,828	45,704	45,704	99.7						
	活動指標(2)	2	件	34	0	36	0	57	0	0.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	60,107	185,200	150,833	61,107	54,041	54,141	平成29年度 予算執行率(%)	88.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	2,144	1,700	99,089	1,700	1,363	2,700	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	54,134	178,449	145,820	55,741	49,583	49,474							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.95	2.95	4.05	2.95	3.05	2.85						
		再任用職員数	9	人	0.50	0.50	0.50	0.40	0.40	0.50						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	25,804	25,804	34,676	25,258	26,203	24,484						
		再任用職員分	12	千円	2,070	2,070	2,195	1,756	1,771	2,214						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	87,981	213,074	187,704	88,121	82,015	80,839							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,110	2,903	1,951	1,886	1,765	1,710							
	財源	受益者負担分	16	千円	8,233	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	8,233	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	79,748	213,074	187,704	88,121	82,015	80,839							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 453

平成29年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	(仮称) 荻外荘公園（遊び場108番）の清掃、除草、管理委託等			20,598
	遊び場110番の清掃、除草、管理委託等			10,010
	他の遊び場の樹木管理、除草等			12,530
	他の遊び場の清掃業務委託			4,510
	その他（他の遊び場の管理運営費、維持補修費ほか）			6,393
(2) 事業実績	平成29年度は、遊び場114番（415.00㎡）を開園しました。また遊び場98番（70.20㎡）の敷地が増えました。遊び場58番は廃止となりました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	遊び場は、区立公園が不足している地域の補完的役割を担っており、今後も貴重なオープンスペースとして有効利用していきます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		



# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00426）

事務事業名称		公園等の整備				款	05	項	04	目	01	事業	004	整理番号	454		
現担当課名		みどり公園課		係名		公園整備係		連絡先電話番号		3583		昨年度整理番号		446			
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分				投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成24年度	実行計画事業		目標	03	施策	08	計画事業	07	09	10	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	みどり公園課										事業評価区分		一般			
	対象	区立公園 公園利用者			根拠法令等		(1)		都市公園法								
							(2)		地方自治法第281条								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができる。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できる。				活動指標		指標名（1）		当該年度に新設、拡張整備した公園数							
					指標説明		指標名（2）		当該年度に整備した公園面積								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	公園の新設及び拡張整備を行う。区民一人当たりの都・区立公園面積5㎡を目標に公園を整備する。				成果指標		指標名（1）		区民一人当たりの都区立公園面積								
					指標説明		指標名（2）		公園・緑地等面積÷人口								
					指標説明		指標名（2）		区立公園の面積								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）								
指標	活動指標（1）	1	園	2	3	3	2	2	3	100.0							
	活動指標（2）	2	㎡	6,990	30,860	34,573	1,439	1,433	2,240	99.6							
	成果指標（1）	3	㎡/人	2.04	2.08	2.08	2.12	2.07	2.15	97.6							
	成果指標（2）	4	㎡	614,462	652,312	649,821	651,260	650,162	653,494	99.8							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,839,649	1,474,418	1,414,028	2,972,118	2,932,736	650,644	平成29年度 予算執行率（%）	98.7						
	（内）投資的経費等	6	千円	1,506,988	1,407,346	926,292	2,872,876	2,846,898	554,479	特記事項							
	（内）委託費	7	千円	515,922	890,064	829,943	243,258	211,783	168,210	（仮称）荻窪四丁目公園（1092.63㎡）は平成30年4月7日開園のため平成29年度成果指標の区立公園面積には含まれておりません。							
	職員数	常勤職員数	8	人	7.26	6.65	7.33	6.80	7.42	7.90	平成29年度は、柏の宮公園、下高井戸おおぞら公園の隣接地買収のため事業費の増が生じました。						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	63,503	58,168	62,759	58,222	63,745	67,869							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費	14	千円	1,903,152	1,532,586	1,476,787	3,030,340	2,996,481	718,513								
	単位当たりコスト	15	円	198,082,000	41,746,667	183,498,333	78,732,000	74,791,500	54,678,000								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	366,500	391,000	194,900	785,955	368,624	158,680							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	1,100	1,477	1,812	4,955							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計		20	千円	366,500	391,000	196,000	787,432	370,436	163,635								
差引：一般財源		21	千円	1,536,652	1,141,586	1,280,787	2,242,908	2,626,045	554,878								
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	454
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		下高井戸おおぞら公園第一期区域拡張整備工事			
		柏の宮公園拡張用地購入	5,873	m <sup>2</sup>	2,353,148
		(仮称)荻窪四丁目公園整備工事			49,293
		すくすくひろば整備工事			41,882
		その他(下高井戸おおぞら公園拡張用地購入ほか)			467,735
(2) 事業実績	<p>平成28年度に開園した下高井戸おおぞら公園は、来園者の更なる利便性、防災機能の向上のため荒玉水道道路沿いの用地取得、出入口の拡張整備(340.86m<sup>2</sup>)を行いました。また、柏の宮公園の拡張用地(5873.29m<sup>2</sup>)を取得し、基本計画・設計を進めたほか、(仮称)荻窪四丁目公園(1092.63m<sup>2</sup>)の整備を行いました。さらに、(仮称)荻外荘公園では、文化財標柱、史跡案内板を設置し、新町鳥居先公園、たんぼぼ公園、柳窪公園、桐の木公園、梅里中央公園、永福北公園の6所には、乳幼児が安心してのびのび遊ぶことができる「すくすくひろば」を開設しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>用地取得に多大な経費がかかるようになっていきます。みどりを残すこと、また地域の防災機能を向上させるため、公園として整備して欲しいという機運が高まっています。平成28年度下高井戸おおぞら公園が整備されたことにより、方南和泉地区に地域公園が整備され、杉並区7地域全てに地域公園が整備されました。(仮称)荻外荘公園は、国の史跡に指定されたことにより、復原整備に区民の期待が高まっています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>貴重なみどりや広いスペースを持つ民有地等を公園として整備してほしいという要望があります。公園にかまどベンチやマンホールトイレなどの防災機能を求める声があります。高齢の利用者からは健康遊具等の設置要望があります。また、子供たちが安全に安心して利用できる公園を求める声が増えてきています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>区民の防災意識の向上に伴い、公園に防災機能を求める声が増えています。オープンスペースの重要性が認識され、貴重なみどりやスペースを持つ民有地等を公園として整備していく必要があります。また公園は、乳幼児の貴重な遊び場として利用されている反面、高齢化により高齢者の利用も増えていきます。今後は、多世代の人たちが安全、安心して利用できる公園の整備が求められると予測されています。</p>			
評価と課題	<p>区立公園の面積は、平成28年度と比較して増加しましたが、区民一人当たりの公園面積は、人口増加の影響で微減しています。また、柏の宮公園に隣接する拡張用地については、既存の樹林地を活用するとともに防災機能の向上を図るため避難場所としての機能も果たすよう設計を進めていきます。平成29年度は6か所の公園に乳幼児の遊びの広場「すくすくひろば」を開設し、3か年で累計14か所の整備を行いました。今後は、乳幼児の遊び場のほか、高齢者の利用など多世代の人たちが安全、安心して利用できる公園の整備が必要です。そのため、今後は、区民ニーズと時代の変化に対応した多世代が利用できる公園づくりを行なっていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>杉並区全体の防災性の向上や地域公園の防災機能の充実を図るため、既存公園の隣地や社宅、国有地、公共用地、生産緑地などの用地に注視して事業に取り組んでいくとともに、区民ニーズと時代の変化に対応した公園づくりにも取り組んでいきます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00427)

事務事業名称		公園のリニューアル				款	05	項	04	目	01	事業	005	整理番号	455		
現担当課名		みどり公園課		係名		公園整備係		連絡先電話番号		3583		昨年度整理番号		447			
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		投資事業			
事務事業の概要	事業開始		平成24年度														
	平成29年度担当課名		みどり公園課								事業評価区分		一般				
	対象		区立公園 公園利用者		根拠法令等		(1) (2)		都市公園法 地方自治法第281条								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		公園のリニューアルにより、区民の安全で快適な公園利用を図る。		活動指標		指標名(1) 指標名(2)		全面・部分改修公園数		指標説明						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		既設公園の全面、或は部分改修を行い、魅力ある公園に再整備する。 老朽化した遊具などの施設を改修する。		成果指標		指標名(1) 指標名(2)		「公園や広場」が良いと思っている人の割合		指標説明		区民意向調査による				
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	園	3	3	4	3	3	16	100.0						
	活動指標(2)		2														
	成果指標(1)		3	%	77.2	80	79.8	80	79.8	80	99.8						
	成果指標(2)		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	37,848	29,055	27,138	27,425	20,779	98,041	平成29年度 予算執行率(%)		75.8				
	(内)投資的経費等		6	千円	37,709	28,916	27,009	17,500	16,944	92,902	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	37,709	28,916	27,009	32,286	22,580	97,902	執行率(75.8%)については、工事対象規模の縮小、契約落差などによる。						
	職員数	常勤職員数		8	人	1.40	0.90	1.80	1.80	2.00	2.90						
		再任用職員数		9	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	12,246	7,872	15,412	15,412	17,182	24,914						
		再任用職員分		12	千円	828	828	878	878	886	886						
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	50,922	37,755	43,428	43,715	38,847	123,841							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	4,404,333	2,946,333	4,104,750	8,738,333	7,301,000	1,933,688							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	22,950						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	22,950								
差引：一般財源(14-20)		21	千円	50,922	37,755	43,428	43,715	38,847	100,891								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	455
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		和田中央公園遊具改修工事	1	か所	4,826
		どんぐり山児童遊園遊具改修工事	1	か所	4,817
		梅里中央公園流れ改修工事	1	か所	7,301
		玉川上水公園便所復旧工事設計委託			3,715
		その他（消耗品購入他）			120
(2) 事業実績	平成29年度は、和田中央公園ほか1公園で木製遊具など老朽化した遊具を撤去して、新しい遊具を設置しました。また、梅里中央公園では、流れの設備改修を行いました。玉川上水公園の便所については、放射23号線事業認可に伴ない便所の移設について検討を行いました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	現在300を越える区立公園のうち、約3分の1が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象が子供からお年寄りまで幅広くなっています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	乳幼児から高齢者まで幅広い世代が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。球戯場は、利用面での課題もありますが、利用者からは施設の継続を希望する声が聞かれます。老朽化した木製遊具の代わりに設置した複合遊具は、利用者も多く子供たちに人気があります。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	園路、広場、便所等の公園施設のバリアフリー化が求められています。また、「都市緑地法の一部を改正する法律」の施行により、公園等が多面的な機能を発揮できるよう既存の公園施設を有効に活用することが求められています。			
	評価と課題	老朽化した公園施設の改修やバリアフリー化が求められています。しかし、施設数が多いことなどからなかなか改修が進んでいません。平成29年度実施した公園ニーズ調査結果に基づき、公園施設の多機能化・集約化を図りながら、平成30年度からは、安全かつ安心して公園を利用することができるよう遊具の機能保全を目的とした改修事業を進めていきます。また、多様な世代が利用できる魅力ある公園づくりを進めます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	現在、多くの公園施設が更新の時期を迎えています。中でも特に安全性が求められる遊具については健全度調査を基に、更新の優先度等を検討し対象施設の絞り込みを行いました。平成30年度からは、遊具の改修箇所を増やし、更新の優先度の高い施設から改修に取り組んでいきます。また既公園施設については、多機能化、集約化を図り、区民ニーズと時代の変化に対応した魅力ある公園づくりに取り組むため、「（仮称）多世代が利用できる公園づくり基本方針」を策定します。			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00428 ）

事務事業名称		みどりを育てる					款	05	項	04	目	02	事業	001	整理番号	457
現担当課名		みどり公園課		係名		みどりの計画係			連絡先電話番号		3593		昨年度整理番号		449	
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和48年度	実行計画事業		目標	03	施策	08	計画事業	03	02	05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成29年度担当課名	みどり公園課										事業評価区分		一般		
	対象	带状のみどり空間を創出する活動主体、みどりに関心のある個人、屋敷林所有者、みどりの協定締結者、みどりのボランティアに関心のある人、農地の所有者など				根拠法令等	(1)	杉並区みどりの条例								
							(2)	都市緑地法								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	地域緑化に関する普及啓発事業の推進を通して、区民等の緑化意識の醸成を図る。				活動指標	みどりの新聞の発行部数									
					指標名	(1)										
					指標説明	みどりの講座・イベントの開催数										
					指標名	(2)										
					指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	緑化に関する印刷物の発行やみどりのボランティアの育成、みどりに関する講座の開催等を行う。				成果指標	緑被率（平成29年度調査）										
					指標名	(1)										
					指標説明	概ね5年毎に実施する「杉並区みどりの実態調査」による、区全域に占める樹木被覆地等の割合										
					指標名	(2)										
					指標説明											
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 部	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	100.0							
	活動指標(2)	2 回	4	4	4	4	4	4	100.0							
	成果指標(1)	3 %	22.17	23	22.17	23	21.77	23	94.7							
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	13,683	13,538	10,874	37,791	33,396	23,530	平成29年度 予算執行率(%)	88.4						
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内) 委託費	7 千円	8,723	6,036	4,547	30,578	27,994	3,851	みどりのベルトづくり推進地区における委託規模の縮小や資材費の減、みどりの実態調査委託の契約落差金等により執行率88.4%になりました。							
	職員数	常勤職員数	8 人	4.16	4.00	4.12	4.00	4.12	3.95							
		再任用職員数	9 人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	1.10							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	36,388	34,988	35,275	34,248	35,395	33,934							
		再任用職員分	12 千円	1,035	1,035	1,098	1,098	1,107	4,871							
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費	14 千円	51,106	49,561	47,247	73,137	69,898	62,335								
	単位当たりコスト	15 円	1,460	1,416	1,350	2,090	1,997	1,781								
	財源	受益者負担分	16 千円	79	112	110	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	967	0	0	0							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計		20 千円	79	112	1,077	0	0	0								
差引：一般財源		21 千円	51,027	49,449	46,170	73,137	69,898	62,335								
受益者負担比率	22 %	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0									

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	457
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		みどりの新聞「みどりとひと」の発行	35,000	部	1,266
		みどりの相談所専門相談員報酬の支出	4	名	1,401
		みどりの実態調査委託			24,624
		杉並区みどりの顕彰「みんなで楽しめる杉並のみどり」表彰式事業委託			499
		その他（みどりのボランティア支援、みどりの講座の開催 ほか）			5,606
(2) 事業実績	平成29年度みどりの実態調査を実施しました。成果指標である緑被率は21.77%で前回（平成24年度）の22.17%から0.4ポイント減少しました。また、緑地保全方針では「杉並のみどりと農を楽しむ小さな旅マップ」の発行、農の風景育成地区の案内看板の設置、農の風景育成地区展示「西田の風景いまむかし」を行いました。みどりの顕彰制度では、「みんなで楽しめる杉並のみどり」の表彰式を5月のみどりのイベント内で行いました。みどりの講座では「葉脈標本でしおりを作ろう」、「ブルーベリー植え付け講座」を行いました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	区内の緑の状況は、緑被率が昭和47年より平成9年まで減少を続けてきましたが、平成14年以降、平成19年、平成24年と増加していました。平成29年度のみどりの実態調査の結果では、21.77%になり再び減少し、特に後世に継承すべき生産緑地や屋敷林などは減少しています。 【緑被率推移】 24.02%（昭和47年度）、21.56%（昭和52年度）、20.84%（昭和57年度）、19.90%（昭和62年度）、18.97%（平成4年度）、17.59%（平成9年度）、20.91%（平成14年度）、21.84%（平成19年度）、22.17%（平成24年度）、21.77%（平成29年度）			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	みどりに関心を持つ区民が増えて、みどりの講座への参加や印刷物等の需要は高まっています。また、みどりのイベントやみどりのボランティア等、身近なみどりを育てる活動をする区民が多数おり、地域緑化及び地域コミュニティの醸成に貢献しています。一方、新緑などへは好意的な意見が多い半面、樹木の落ち葉や日照を遮って困るなど、適正管理への要望も多く寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	みどりに関心を持つ区民が増えて、みどりのボランティアなどの身近なみどりを育てる活動をする区民が多くなります。一方、活動をする区民の高齢化により、継続して活動をされる方の確保が難しくなります。 生産緑地については平成34年（2022年）以降順次解除が可能となるため、農地の保全に影響があると思われま。緑地保全方針からも農地の保全の在り方について早急に検討を進めます。			
評価と課題	これまで取り組んできたみどりの普及啓発活動により、樹木・樹林に対する保全要望の声や、魅力的な緑化を行っている住宅が増加するなど、区民の緑化への関心は高まっています。今後は、広報等での周知や講座の開催だけでなく、幅広く緑化に興味を持ってもらうために体験型事業等の企画を実施していきます。 一方、農地については生産緑地を指定してから30年を迎える平成34年（2022年）以降順次解除されることが危惧されます。そのため、緑地保全方針からも農地の保全について対策を検討していきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	平成30年度はみどりの実態調査（5年ごと）がない分、事業コストは縮小となっています。平成29年度の実態調査では、緑被率が21.77%と0.4ポイント減少しました。農地や屋敷林の減少が想定されます。屋敷林や農地をはじめ、区内のみどりの約7割は民有地のみどりです。これらのみどりがもたらす様々な恩恵は等しく区民に還元されており、地域全体の公共的資産ととらえることが必要です。この意味でみどりの保全への取組は、関心があるものだけが行うのではなく、利益を享受する地域社会全体が支えていくべきものと言えます。今あるみどりを減らさないようみどり環境を意識した普及啓発を継続して実施し、杉並のみどりを区民、事業者、区が協働で守り、増やす努力をすることなどを念頭に置き、緑被率25%を目指します。			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00429)

事務事業名称		みどりを創る				款	05	項	04	目	02	事業	002	整理番号	458		
現担当課名		みどり公園課		係名		みどりの事業係		連絡先電話番号		3595		昨年度整理番号		450			
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業			
事業開始		昭和48年度		実行計画事業		目標		03		施策		08		計画事業		03	
平成29年度担当課名		みどり公園課										事業評価区分		一般			
対象		緑化の助成(個人、事業者)緑化計画(個人、事業者)公共施設の樹木管理(区立学校、区立施設)寄付樹木(個人、事業者)				根拠法令等		(1)		杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則							
								(2)		杉並区接道部緑化助成要綱							
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		接道部緑化助成延長(350m)										
	道路に接した部分を緑化したり、建物の屋上や壁をみどりで覆うことにより、安全でみどり豊かなまちなみ環境を創る。緑化計画書で一定基準のみどりを設けてもらうことで、まち全体の緑地を確保する。				指標名(1)												
					指標説明		緑化計画の受理件数(1,800件)										
					指標名(2)												
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		個人の建物の屋上・壁面に緑化をする時や、道路に接した部分に生けがきなどを作る時の費用の一部を助成する。区内で開発・建築行為等を行う業者と区民に緑化計画書を提出(接道部緑化、緑地の確保、高木中木低木の本数の確保)するよう義務付け指導する。				成果指標		接道部緑化助成率									
						指標名(1)		整備延長÷整備計画延長									
						指標名(2)		計画緑地面積達成率									
						指標説明		計画緑地面積÷基準緑地面積									
区分		単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	m	213	350	119	350	215	350	61.4						
	活動指標(2)		2	件	1,907	1,800	1,811	1,800	1,811	1,800	100.6						
	成果指標(1)		3	%	61	100	34	100	61	100	61.0						
	成果指標(2)		4	%	164	100	123	100	131	100	131.0						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	95,894	105,279	98,181	104,361	98,014	108,478	平成29年度予算執行率(%)		93.9				
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	90,496	96,145	95,971	95,227	94,933	99,344	・活動指標(2)の実績及び達成率は100%が最低となります。						
	職員数	常勤職員数		8	人	5.50	5.50	5.76	5.50	5.63	5.40						
		再任用職員数		9	人	1.01	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50						
		非常勤職員数		10	人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	1.30						
	人件費	常勤職員分		11	千円	48,109	48,109	49,317	47,091	48,367	46,391						
		再任用職員分		12	千円	4,180	4,139	4,390	4,390	4,428	2,214						
		非常勤職員分		13	千円	2,642	2,642	2,674	2,674	2,650	3,827						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	150,825	160,169	154,562	158,516	153,459	160,910							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	708,099	457,626	1,298,840	452,903	713,763	459,743							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	150,825	160,169	154,562	158,516	153,459	160,910								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	458
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	緑化計画の指導・受理	1,811	件	116
		屋上・壁面緑化助成	42	m <sup>2</sup>	615
接道部緑化助成		17	件	2,421	
公共施設の樹木維持管理委託		239	所	91,562	
その他（苗木の育成委託・寄付樹木の受領・みどりのリサイクルほか）				3,300	
(2) 事業実績	緑化計画受理件数 1,811件の内訳（建築確認時の敷地面積200m <sup>2</sup> 以上 613件、200m <sup>2</sup> 未満 1,198件） 緑化計画による計画接道部緑化延長 4,799.6m、計画緑地面積 33,707.5m <sup>2</sup> 、計画樹木本数 55,388本 寄付樹木受領本数 2本				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	接道部緑化助成制度は昭和53年度から緑化推進モデル地区内で始まり、昭和60年度に区内全域へ拡大しました。平成12年度には塀の撤去も含め現在の助成制度の体系になっています。屋上・壁面緑化助成については平成14年10月から始まり、平成18年度に一部改正しました。平成24年度には、助成制度全体について改正し現在に至っています。平成29年度は件数が少なく、大規模案件も無かったため実績は伸び悩みました。緑化計画件数はここ数年1,800～2,000件程度で推移しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	接道部緑化助成については、2項道路等で未後退の場合、後退が条件となるため緑化を断念することもあります。屋上緑化助成については建物の構造上の安全確認を求めため、助成を活用できないこともあります。緑化計画に関しては、大規模の案件では、別の基準を持つ都と区の双方の基準を満たす計画を作成する必要があるため、苦情をいただくこともあります。風致地区で壁面後退等の緩和措置を受ける場合も同様です。また、寄付樹木に関しては、リスクの大きな大木の移植や、移植時期等の条件が折り合わず、止むを得ずお断りする場合、不満の声が聞かれます。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	敷地の細分化が進み接道部の緑化余力地が減少するなかで、中木による生垣から木本類と草本類が混在する植込み型の緑化が増加していくと思われます。屋上・壁面緑化はヒートアイランド対策で特に需要が高まると思われます。屋上緑化は28、29年度と助成実績は伸び悩みましたが、平成24年度のみどりの実態調査に続き、平成29年度の調査結果でも増加しており、今後も増加が期待されます。			
評価と課題	建物の用途や用途地域に応じ、きめ細かな指導を行う現在の緑化計画制度は、民有地の緑化を進める上で一定の効果があると考えます。一方、建築確認申請総数に対する計画書の提出率は約7割となっており、完了届も併せて提出率の向上が課題となっています。また、緑化助成制度は前年度に比べて、「生けがき助成」が大幅に増加しました。今後は屋上緑化や壁面緑化などの実績向上を図ることが課題となります。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	現行の緑化計画制度は有効に機能していますが、計画書及び完了届の提出率にはまだまだ向上の余地が見込めるため、事業者への連絡など積極的な周知に努めます。緑化助成については、区広報を主体としたPRと併せて、パンフレットを活用した働きかけを行い実績の向上を図ります。			



# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00430）

事務事業名称		みどりを守る				款	05	項	04	目	02	事業	003	整理番号	459	
現担当課名		みどり公園課		係名		みどりの事業係		連絡先電話番号		3595		昨年度整理番号		451		
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		昭和48年度		実行計画事業		目標 03		施策 08		計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成29年度担当課名		みどり公園課										事業評価区分 一般			
	対象		保護樹木等の補助：個人、事業者				根拠法令等		(1)		杉並区みどりの条例					
									(2)		杉並区みどりの条例施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		大きな樹木や樹林を所有者の同意のもと指定し保護していく。特に未来に残したい巨木や珍木については貴重木として指定し手厚く保全する。				活動指標		指標名（1）		貴重木指定本数					
						指標説明				保護樹木指定本数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		一定基準以上の樹木、樹林、生けがきについて、所有者の申し出により保護指定を行い、倒木事故等に対応する損害保険の加入、所有者の維持管理費の負担軽減のための補助金交付を行い、みどりの保護に努める。				成果指標		指標名（1）		貴重木保全率						
						指標説明				貴重木指定本数 ÷ 貴重木保全計画本数						
						指標名（2）				保護樹木継続率						
						指標説明				今年度樹木数 ÷ 前年度樹木本数						
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）		1	本	68	100	80	100	80	100	80.0					
	活動指標（2）		2	本	1,585	1,800	1,560	1,750	1,542	1,750	88.1					
	成果指標（1）		3	%	68	100	80	100	80	100	80.0					
	成果指標（2）		4	%	100	100	98	100	99	100	99.0					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	44,931	65,582	60,337	63,155	53,968	54,551	平成29年度予算執行率(%) 85.5					
	（内）投資的経費等		6	千円	313	8,204	16,543	12,440	12,399	3,445	特記事項 ・平成29年度予算執行率は保護樹木等補助金の支出が少なかったことにより90%を割っています。					
	（内）委託費		7	千円	11,963	31,913	28,277	27,559	24,211	18,144						
	職員数	常勤職員数		8	人	4.20	4.10	4.20	4.10	4.20						4.85
		再任用職員数		9	人	0.60	0.60	0.60	0.50	0.50						0.80
		非常勤職員数		10	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						0.18
	人件費	常勤職員分		11	千円	36,737	35,863	35,960	35,104	36,082						41,666
		再任用職員分		12	千円	2,483	2,483	2,634	2,195	2,214						3,542
		非常勤職員分		13	千円	294	294	297	297	294						530
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	84,445	104,222	99,228	100,751	92,558	100,289						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	1,237,235	960,180	1,033,563	883,110	1,001,988	968,440						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0						0
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0						0
その他の補助金等		19	千円	7,187	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	7,187	0	0	0	0	0							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	77,258	104,222	99,228	100,751	92,558	100,289							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	459
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助	712	件	31,784
		市民緑地の維持管理	3	所	15,324
		区営苗圃の維持管理	3,816	m <sup>2</sup>	6,860
		生き物生息場所の保全	3	所	0
		その他( )			
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	区内の保護指定は、平成30年3月31日現在、保護樹木1,542本、貴重木80本、保護樹林406,697.98m <sup>2</sup> 、保護生けがき6,048.30mとなっています。貴重木については平成26年度から新たに公共施設についても指定を開始しました。また、区営苗圃については3か所で3,816m <sup>2</sup> あるほか、市民緑地については区で最初に開設した清水いこいの森の期間更新と併せ、区域を拡張(約118m <sup>2</sup> 増)する工事を行いました。(拡張区域の供用開始は平成30年度)			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	保護指定制度はみどりの条例ができた当初から柱となる制度で、保護樹木等に指定することで貴重なみどりを未来にわたり保全するための制度です。保護指定された樹木等は所有者も伐採には慎重で、当制度がみどりの減少に対する抑止力となっています。保護樹林が解除される場合でも、可能なものは保護樹木として残す例や、保護樹木を貴重木に格上げする事例もあります。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保護樹木等の存在は、多くの方に恩恵を与える反面、近隣にお住いの方々には日照弊害・落葉による雨どいの詰まり・落葉掃除などが生じている面もあり、保護樹木等の所有者の維持管理や対応に不満がある場合、区へ苦情が届きます。樹木の維持管理は所有者の責務ですが、必要な維持管理経費に対して区の補助金が少額なため、補助金の増額や制度の見直しの意見も寄せられます。また所有者の高齢化に伴い落葉清掃等の日常管理が負担になって樹木の存続が困難との話も聞かれます。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	相続等により敷地の細分化が進行するため、個人所有の古くからの屋敷林等の樹林は減少が予想されます。大きな樹木も敷地の細分化や所有者の高齢化による維持管理の困難等により同様に減少傾向が進むと思われます。一方で、マンション等の広い敷地の集合住宅などでは、まとまった新たなみどりの形成、屋上緑化の増加など、みどりの質が変化していく傾向が進むと思われます。農地については平成34年(2022年)から生産緑地が順次、解除が可能となることから減少の加速が予測されます。			
評価と課題		保護指定制度は、維持管理費に対する補助、損害賠償責任保険への加入など樹木の保全や普及啓発に一定の成果を上げています。一方で、樹木所有者(管理者)から支援方法についての見直し等を求める意見も寄せられており、引き続き制度を検討していきます。農地については、平成34年(2022年)から順次生産緑地の解除が可能となり、宅地化が進む可能性があります。そのため、関連する部署と連携を図りながら慎重かつ早期に農地の保全に取り組んでいきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	保護指定制度は、支援方法と共に指定状況の検討を進め、併せて市民緑地制度など他の施策も活用し、効率的かつ効果的なみどりの保全を図っていきます。生産緑地については特定生産緑地の制度への移行などを視野に入れた説明会を関連部署と連携して実施していきます。			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00431)

事務事業名称			みどりの基金				款	05	項	04	目	02	事業	004	整理番号	460
現担当課名			みどり公園課				係名			みどりの計画係			連絡先 電話番号	3593	昨年度 整理番号	452
上位施策No・施策名											08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成14年度	実行計画事業			目標	03	施策	08	計画事業			04			
	平成29年度 担当課名	みどり公園課											事業評価区分	一般		
	対象	基金に寄附を寄せる個人、団体、事業者					根拠 法令 等	(1)		杉並区みどりの基金条例						
								(2)		杉並区みどりの基金運営要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	当面、積立額5億円を目標とする。					活動指標	指標名(1)		基金寄附件数						
							指標説明		継続寄附団体等数							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区内のみどりの保全に関する事業の財源に充てるため、区民、事業者及び区が協働して寄附を募る。(仮称)荻外荘公園復原・整備に関する事業の財源に充てるため、その事業に賛同する区内外の方々、事業者に募金を募る。					指標名(2)	指標説明		過去5年以内に2回以上の寄附があり、該当年度に寄附のあった団体数							
						成果指標	指標名(1)		年間寄附等総額							
							指標説明		継続寄附団体等による寄附等総額							
							指標名(2)		過去5年以内に2回以上の寄附があり、該当年度に寄附のあった団体の寄附総額							
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	件	57	50	144	50	111	50	222.0						
	活動指標(2)	2	団体	12	10	15	10	14	10	140.0						
	成果指標(1)	3	千円	888	5,000	3,655	5,000	2,497	5,000	49.9						
	成果指標(2)	4	千円	224	500	268	500	251	500	50.2						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	909	5,144	3,789	3,162	2,661	3,177	平成29年度 予算執行率(%)	84.2					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	0	4	4	14	14	28	みどりの保全や緑化推進、荻外荘復原整備の参画をお願いするPR行事などを開催し寄附金を募りましたが、目標額には至りませんでした。						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,187	2,187	2,141	2,141	2,148	2,148						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	3,096	7,331	5,930	5,303	4,809	5,325							
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	54,316	146,620	41,181	106,060	43,324	106,500							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 (14-20)		21	千円	3,096	7,331	5,930	5,303	4,809	5,325							
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	460	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		みどりの基金寄附総額		111	件	2,497
みどりの基金の利子				7		
その他（普及啓発用品購入ほか）				157		
事業環境の変化と方向性	(2) 事業実績	みどりのイベントや落ち葉感謝祭等のイベント時にみどりの基金をPRし、寄附を募りました。また、荻外荘建物内一部公開イベントを2回開催し、（仮称）荻外荘公園復原・整備について寄附を募りました。ふるさとチョイスを利用したふるさと納税として「荻外荘」の復原・整備、みどりの基金に寄附がありました。				
	事業開始当初から現在までの変化	近年、年間の寄附総額が少額のまま推移してきましたが、杉並区みどりの基金運営要綱を改定し、用途に「区を代表する公園等の整備」を加え、「（仮称）荻外荘公園の整備」を掲げたところ平成28年度より寄附総額が増えています。また、ふるさとチョイスを利用したふるさと納税が本格的に始動し、区民以外の方より寄附が集まりました。				
事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	今後（3～5年）の予測と方向性	寄附した方からの意見としては、保全が必要な樹林地等の購入や、保護指定樹木等を管理するための費用などを望む声があります。また、（仮称）荻外荘公園の復原・整備に賛同する方の寄附がありました。また、寄附の用途について報告を望む声があります。寄附の仕方については現金ではなくクレジット払いを希望する方がいます。一方、寄附しない方の理由としては、寄附をする機会が無い、寄附の仕方がわからないなどがあります。				
	評価と課題	（仮称）荻外荘公園の復原・整備やみどりの保全などの事業に賛同する区内外の方々から「ふるさとチョイス」を利用した寄附の増加が見込まれます。特に、スマートフォンやインターネットから容易に寄附することができることから、その手軽さと、クレジット払いの高額寄附が今後増えることが予測できます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
		みどりの基金は、寄附をしていただくという一方通行ではなく、その用途を寄附者に報告するなど相互の関係を築き継続した支援者となってもらうことが重要です。また、屋敷林や農地の保全、（仮称）荻外荘公園復原・整備などの区の施策が寄附をする人の賛同を得られるものであるよう検討していきます。				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00432)

事務事業名称		公衆便所の維持管理			款	05	項	04	目	03	事業	001	整理番号	461
現担当課名		みどり公園課			係名	管理係			連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	453	
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和28年度												
	平成29年度担当課名	みどり公園課									事業評価区分	施設維持管理		
	対象	区立公衆便所16所			根拠法令等	(1)		杉並区公衆便所条例						
						(2)		地方自治法第2条第3項、281条第2項						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。			活動指標	指標名(1)		公衆便所数						
					指標説明		定期清掃回数(年間延べ回数)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			指標名(2)	指標説明									
	公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。			成果指標	指標名(1)									
					指標説明									
				指標名(2)	指標説明									
					指標説明									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 所	16	16	16	16	16	16	100.0					
	活動指標(2)	2 回	5,673	5,677	5,464	5,558	5,547	5,540	99.8					
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	18,150	23,508	20,479	22,293	21,754	24,175	平成29年度予算執行率(%)	97.6				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	14,002	16,713	16,099	18,213	17,759	19,695						
	職員数	常勤職員数	8 人	1.15	1.20	1.15	1.15	1.15	0.95					
		再任用職員数	9 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	10,059	10,496	9,846	9,846	9,880	8,161					
		再任用職員分	12 千円	828	828	878	878	886	886					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	29,037	34,832	31,203	33,017	32,520	33,222						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	1,814,813	2,177,000	1,950,188	2,063,563	2,032,500	2,076,375						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21 千円	29,037	34,832	31,203	33,017	32,520	33,222						
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	461
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		地域別ブロック方式清掃業務委託	15	所	16,937
		公衆便所の光熱水費	16	所	3,219
		公衆便所の維持補修	16	所	1,446
		その他（公衆便所の樹木管理等）			152
	(2) 事業実績	区内に16所設置している公衆便所維持管理のため、日常清掃、設備の改修及び施設の修繕などを実施しました。高円寺駅北口公衆便所、高円寺北公衆便所、阿佐ヶ谷駅南口公衆便所、高円寺中央公衆便所の4箇所については、特別清掃を実施しました。なお、矢頭公衆便所の清掃については、井草森公園管理事務所及び井草森公園外9公園の維持管理業務委託で実施しています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	施設が経年劣化していく中で清潔で利用しやすい公衆便所を提供するには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があり、また、バリアフリー化も課題となっています。今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘案した上で、計画的に改修を行います。また、日常の維持管理面では、利用者の利便性・快適性の向上を図るため、特別清掃の実施やすべての個室にトイレトペーパーを設置するなど利用者へのサービスの充実を図っています。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				



# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	462	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		公園緑地事務所等の光熱水費		11	所	12,858
		公園緑地事務所等の警備・設備保守等委託		11	所	13,577
		公園緑地事務所等の清掃		10	所	9,755
		角川庭園・幻戯山房の管理運営		1	所	1,513
	その他（公園緑地事務所等の管理運営費（上記以外））					8,004
	(2) 事業実績	平成29年度から下高井戸おおぞら公園の維持管理が始まり、南・北公園緑地事務所及び公園管理事務所11所の管理運営を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題		施設の老朽化により設備等の修繕が増加しており、今まで以上に計画的な施設維持が必要となります。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
	今後の進め方					